

地域“超”密着で 新たな可能性を探る

2017年12月15日
株式会社 阪急交通社
マーケティング部
部長 室田 伸一

阪急阪神グループ



阪急交通社

この時期だけの名城と桜の共演!!

小松空港利用 航空機で片道約70分!!

コース番号・団体番号 47868N-284

ネット受付中! 阪急 阪急 新聞

桜で北陸8名城の旅 2日間

富山城 高岡城 七尾城 金沢城 福井城址 北の庄城址 越前大野城 丸岡城

名湯 山中温泉に泊まって

2名様1室でも 1名様1室も同代金!!

25万円

※国内線航空券成金利用(往復・580円)が必要となります。

出発日 4月 2・4・5・6・7・9・10・11・12・13・14

名湯山中温泉に泊まる! 山中温泉月物語 1名様1室も同代金!!

行きたい旅、見つかる。トラピックス

イオン・キヤノン・定額制通信 阪急 斗世

土・日・祝も受付中! 24時間受付中! 阪急交通社

行きたい旅、見つかる。 「素敵な思い出づくり、始まる」旬の旅・情報誌

trapics

トラピックス倶楽部

2018 1月 首都圏版

国内・海外旅行

この時期おすすかしい 魅力のイベント 異国情緒あふれる 長崎を楽しむ華輝祭 P.12

一生に一度は見た風景 P.50-51

【ドイツ】若き王の壮大な夢の跡

ノイシュバン シュタイン城

【アメリカ】世界一雄大な大峡谷

グランド キャニオン

今月の特集

特別特集 すべての旅行者 担当者 一押し21コース!!

世界を知らなくす「旅の達人100人」に聞き出した

添乗員が 選ぶベスト5

2017年度上期(4月~8月)の 専らトラピックス海外必読旅行ツアラー

お客様 アンケートベスト10

日常を離れ 心癒される旅に出逢う

おひとり様 参加可能な コースも 多数ご用意 しております!!

心に届く旅 阪急交通社 Direct to your heart

阪急交通社 総額 7,000万円 10,000円 旅行券7,000円に プレゼント!

70周年記念 還元キャンペーン

長島町との連携

鹿児島県 長島町



人口：約10,000人
出生率：2.0人

主な産業：漁業(養殖ブリ日本一)
農業(赤土じゃがいも)
県外客向けの宿泊施設：なし

食料自給率：100%超
エネルギー自給率：100%超

養殖ブリ日本一の町



芋焼酎「島美人」の産地



温州みかん発祥の地



地域の魅力を引き出す方々



長島大陸支店

www.Bandicam.com

KTS

新たな観光資源掘り起こしへ

長島町役場 旅行代理店の支店開設

長島観光会議



ブリの餌やり体験視察



長島大陸市場食堂



長島大陸市場食堂 New !



最強コンテンツ「鰯王定食」



漁協の食堂が大評判のスポットに



鯰王ツアーがお客様食事満足度 1 位に



**ズバッと！
鹿児島**

●MBCテレビ 6月25日(土)9:30放送予定
紹介コース!!



コース番号 702078-180
 阪急 鹿児島 702078 福岡 702079
 長島町は鯛の養殖世界一!!

長島ブランド「鰯王(ぶりおう)」と
日本初の黒酢レストラン「梅志田」で食す



霧島温泉
に泊まる

かごしま再発見の旅 **2日間**

熊本地震復興応援事業として
鹿児島県から
お一人様**9,980円**の
助成金を頂いて実現しました!!
※助成金は代金の一部が熊本被災地の復興を支援します。



6月 19(日)・26(日)
7月 1(金)・3(日)・8(金)
15(金)・18(祝)・23(土)
24(日)・31(日)

■出発日(2016年)と旅行代金(大人お一人様
3~4名様一室ご利用の場合)

9,980円

【6/26・7/18・7/23出発のみ鳴池港発着をご用意!!】
鳴池港(8:30発)＝鹿兒島中央駅(9:00発)＝**薩摩藩英国留学生記念館**(日本の近代化に貢献した留学生の生きざまと功績を顕彰する記念館)＝**★長島大陸市場食堂**(長島町のブランドぶり「薩王」の薩王定食をご賞味♪)＝**針尾公園**(眼下に伊豆島・熊浦島・獅子島などを一望し、遙くに天草・雲仙を望望する絶景地)＝**曾木の滝**(別名「東洋のナイアガラ」と呼ばれ、巨岩の隙を落ちる幅広い雄大な滝)＝**霧島温泉♨(3ヶ)**
ホテル(9:00発)＝**霧島神宮**(鹿兒島のパワースポットの一つ)＝**関之尾の滝**(「日本の滝100選」にも選ばれている名勝地)＝**道の駅「すえよし」**(イチオシはゆず商品ドリンクやドレッシングなど暑い時期にぴったり!)＝**★黒酢本舗 桐志田**(黒酢セミナーと選べる健康ランチをご賞味♪)＝**蒲生大クス**(国特別天然記念物。日本一のクスノキを見学)＝**仙巖園**(島津光久によって築かれた別荘。園内にある「反射炉跡」が「明治日本の産業革命遺産」として**世界遺産**に登録されました。)＝鹿兒島中央駅(17:00頃)＝鳴池港(17:30頃着)

※名座一空・利用の組合はたったの密一人様1,000円増しと致します

鯪王のポスター

鯪王/イメージ

鯪王

ぶりおう

鹿児島県長島町が誇る鯪の王様

福岡 大分 熊本 宮崎 鹿児島 長島町 九州 KYUSHU

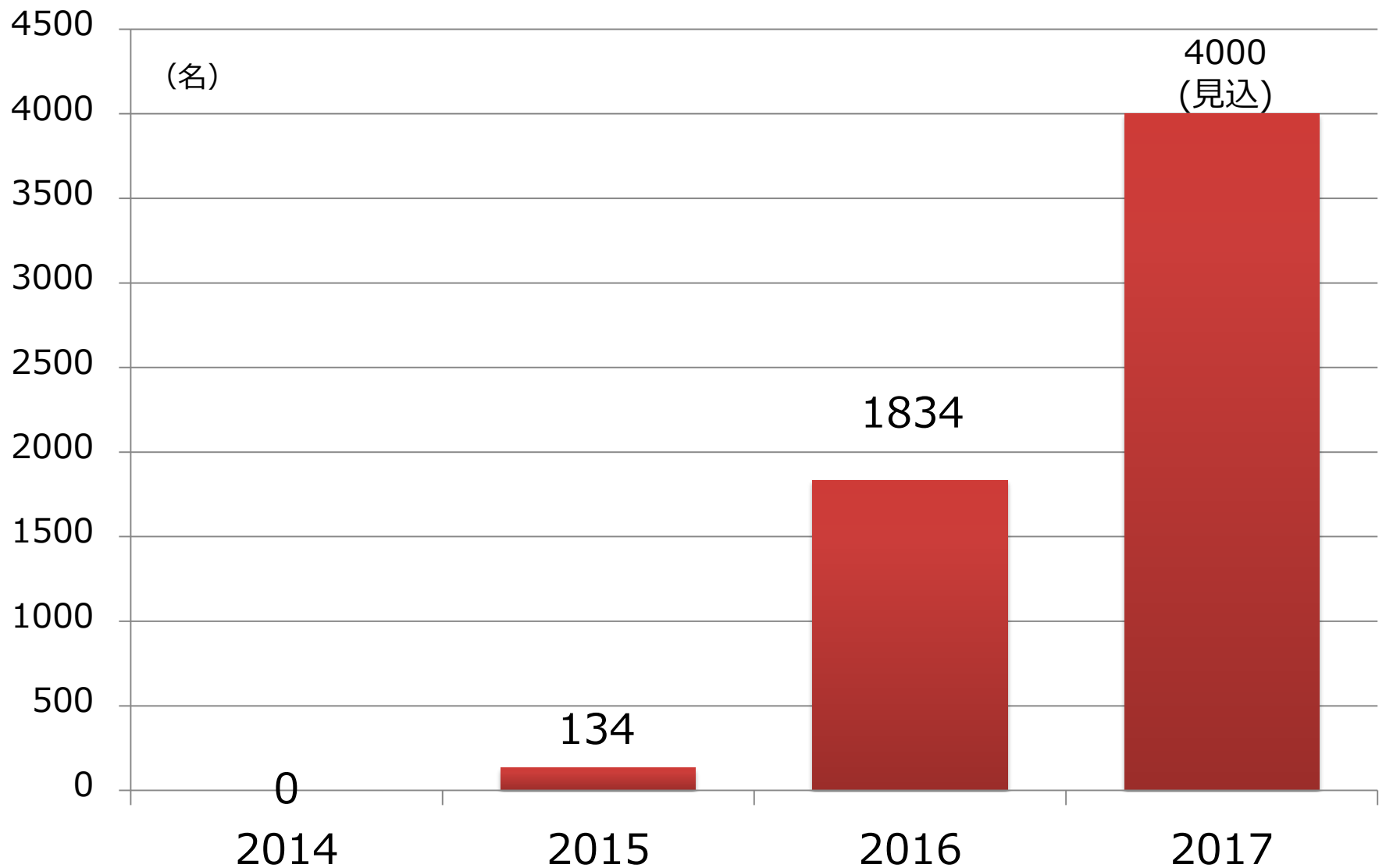
当社ツアーにおいて提供した鯪王のお食事が
**2016年度アンケート食事
満足度No.1となりました!!**

鯪王定食

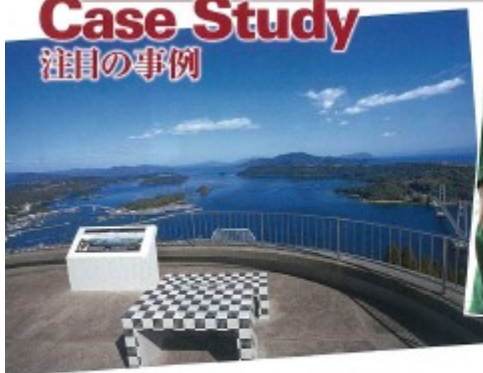
脂がのって身もしっかり
引き締まって、二度
味わったらやみつきです!!

年間生産量日本一の
「鯪王」をぜひご賞味下さい!!

ツアー客ゼロから4000人が訪れる町に



Case Study 注目の事例



阪急交通社の 長島大陸支店

地域“超”密着で旅行店舗に新たな役割

阪急交通社が観光を通じた鹿児島県長島町の活性化に乗り出して約1年。
17年度の送客は前年の2倍を上回る見込みと、着実に成果を上げつつある。活動の軸は長島大陸支店。
旅行販売を主に手掛ける既存支店と役割を違った取り組みが観光客を呼び込んでいる。

取材・文／高岸洋行

阪急交通社が「長島大陸支店」を開業した長島町は、ブリの養殖が世界一。温州ミカンの発祥地としても知られる農業と漁業の町で、鹿児島県北西部に位置する長島本島を中心とする大小23の島々で構成されている。島にあるのに大陸支店とは不思議なネーミングだが、海も山も大地もあるこの地域を、長島町ではプライドを込めて長島「大陸」と呼ぶ。近年、地域の魅力のPRを兼ねて長島大陸という名称を積極的に使用しており、「長島大陸市場食堂」(漁協運営の食堂)、「長島大陸Nセンター」(役場内の町民スペース)など、「大陸」を冠した施設も増えている。阪急交通社の支店名もこうした例にならったものだ。とはいえ、人口は約1万人。

支店を置くには異例の規模の小ささだが、阪急交通社は今年度(17年4月～18年3月)に約4000人を送客する見込みだ。
同社は昨年11月、食を切り口に観光需要と交流人口を創出するため、長島町と観光振興の連携協定を締結した。旅行商品の同一化やオンライン専売旅行会社の台頭といった課題に直面するなか、新たな事業領域を構築する狙いがあった。一方の長島町は、基幹産業である農業や漁業の衰退が顕著し、収益減に苦しんでいた。その打開策として着目したのが観光振興による経済活性化策。プロの視点や助言を必要としており、地域振興で分野を開拓する阪急と思惑が一致した。



左・中央／漁協が運営する食堂でブランドぶり「鯛王」を食すのがツアーの目玉
右／鯛王を口にした「かこしま鯛発見の旅2日間」は16年度国内旅行ツアーの食味満足度1位に輝いた

Case Study



阪急交通社は、15年度に同地方創生事業として行われた「ふるさと創」を通じて鹿児島県との関係を深め、同年に長島町を初めて商品化し、134人を送客した。16年度には1834人に拡大。支店開設後は成長カーブが一変と上向き。17年度は当初目標の3000人に対して4～8月累計で2500人を送客しており、年間でも4000人に上る見込みだ。

ツアー参加者の満足度の面でも実績を上げていく。阪急交通社の宿泊付き国内ツアーは1000コース超を数えるが、長島町特産のブランドぶり「鯛王」を味わえるツアーが16年度の食味満足度1位に輝き、総合でも3位。沖縄など人気観光地が上位を占めるなか、健闘は明らかとなった。

人口1万人の町に4000人の送客というだけでも目に留まる成果だが、同プロジェクトを統括する営業統括本部の室田伸一マーケティング部長は「目標は1万人。1人1万円の経済効果として町に1億円の効果をもたらせばと考えている」と高い志を示す。

毎月1回は部長自ら訪問

これまで阪急交通社は専ら大手旅行会社と同様に発地型旅行を主に手掛けてきた。観光資源の掘り起こしや地域への観光客誘致といった、いわゆる着地型旅行の担い手として地域経済の活性化に本格的に取り組むのは長島大陸支店が初の試みだ。それにもかかわらず、ここまで順調に成果を上げることができたのは、連携のテーマに地域との“超”密着を掲げ、徹底して地域に寄り添う努力を怠らなかったからだ。

長島町の役場内にデスクとスペースを有料で借り

て開設した長島大陸支店には、常駐社員こそないが、鹿児島支店の2人が長島大陸支店員として定期的に訪問する。現在は週に1回のペースで訪れ、町とのパイプづくりや信頼関係づくりを続けている。

鹿児島支店に所属する水元竜氏は、入社3年目に担当に任命された。「県外出身でもあり、長島町については正直、プリとみかんの印象しかなく、観光のイメージは薄かった。逆に阪急交通社は町での認知度が低く知られていない状況だった」と当時を振り返る。そこで、毎週車で鹿児島から2時間かけて町に週に1回、とにかく自分と会社のことを覚えてもらおうと努力を重ねた。結果、「いまでは町の人に「住民票も移してしまえば」と勧められるほどになった」という。

また、月に1回は本社から室田部長自身が現地足を運び、役場関係者はもちろん、農家や漁協、商工会などさまざまな関係者と会議を開催。販売成績の報告を行ったり、観光素材の発掘や商品造成について地元側と意見交換する。こうした場から新たなツアーのアイデアも生まれている。たとえば、「時期によっては規格外のジャガイモがぶつつくことがある」との地元情報から、ジャガイモ詰め放題のツアーを企画した。また、冬場は刺身だけでなくブリしゃぶを食事に組み込むといった商品内容の改善にもつながっている。長島大陸市場食堂では、「鯛王」の魅力の紹介に役立つ大型モニターの設置を働き掛けるなど、観光の視点からさまざまなアプローチを行っている。

「超密着で情報に長島町を訪れ、わかれの本気」を示した。よそ者ではあるが、外から来て何かをすすめて取ろうとしているわけではないことも伝えた

最後に。

連携のきっかけは。。。。

圧巻！ 1000インチの野外スクリーン

